

Airbus 社 新型貨物機 A350F メインデッキカーゴライナーの量産出荷開始について

住友ベークライト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:鍛冶屋伸一)の関係会社である Vaupell Group (以下、Vaupell)は、Airbus 社の新型貨物機 A350F 向けメインデッキカーゴライナーの量産 出荷を、2025 年 9 月より開始したことをお知らせいたします。

【概要と背景】

世界経済の成長により旅客機はコロナパンデミック前を上回る需要が見込まれています。さらに、近年では e コマース市場の拡大により旅客機と合わせて、貨物機の需要の拡大が予想されています。このような市場環境の変化は、航空機内装部品事業を展開する当社グループにとって大きなビジネスチャンスとなっています。拡大する貨物機の需要に対応するべく、当社グループではマレーシアの SNC Industrial Laminates Sdn. Bhd.(以下、SNC)にて新たに航空機内装部品の生産ラインを設置し、Vaupell のサプライチェーン管理、最終製品組み立て技術と住友ベークライトが有する樹脂技術を融合した新たな航空機内装部品の一貫生産体制を構築しました。

【A350F 採用のカーゴライナーを一貫生産で量産開始】

Vaupell は、2019 年に Airbus 社の Tier 1 サプライヤーとして認定されており、次世代大型貨物機 A350F には今回受注したカーゴライナーが搭載されます。

カーゴライナーの製造は、SNC が持つ熱硬化性樹脂複合材ラミネート技術と、Vaupell の航空機内装部品の射出成形・塗装・組み立て技術を活かして実現しました。SNC で内装部品に使用する樹脂製品の成形・加工を行い、Vaupell China (Dongguan) Co., Ltd.では熱可塑射出成形品と成形品への塗装を実施、ドイツの Vaupell Europe GmbH へ集約し、同社で組み立て工程を経て Airbus 社に納品されます。本製品は 2024 年 4 月に Airbus 社の認定を取得し、2025 年 9 月に量産品の出荷を開始しました。



SNC で内装部品に使用する樹脂製品の成形・加工を実施

【今後の計画】

当社の樹脂技術と、航空業界の各種認証基準を満たす組立・製造技術の相乗効果を活用することで、Airbus 社とのさらなる事業拡大を目指します。

■Vaupell Group 概要



本社所在地: 11323 Commando Rd West, Everett, Washington, 98204, USA

拠点: 米国(エバレット他 3 カ所)、中国(東莞)、ドイツ(ハンブルグ)



Vaupell Europe GmbH(ハンブルグ)外観



Vaupell China (Dongguan) Co., Ltd. (東莞)外観

Vaupell は豊富な素材知見および成形技術を活かして、商用航空宇宙アプリケーション用樹脂から航空機内部サブアセンブリまでのエンジニアリングソリューションを組み合わせたグローバル規模のサプライヤーです。

■SNC Industrial Laminates SDN. BHD. 概要



SNC Industrial Laminates SDN. BHD.外観



本社所在地: PLO 38, Jalan Keluli Satu, Pasir Gudang, Industrial Estate, 81700 Pasir Gudang, Johor, MALAYSIA

拠点: マレーシア(パシル・グダン)

SNC は銅張積層板を始めとする回路材料の製造・販売からスタートし、現在ではフェノール樹脂や航空機内装材の製造・販売を行っています。3 つの柱をポートフォリオに事業を拡大しています。

本件についてのお問合せ:

住友ベークライト株式会社 マテリアルズソリューション営業本部 マーケティング部

TEL: 03-5462-4204

お問合せフォーム: https://inquiry.sumibe.co.jp/m/j_aero

このリリースに関するお問い合わせは
コーポレートコミュニケーション部
広報担当まで

〒140-0002
東京都品川区東品川2丁目5-8
天王洲パークサイドビル

TEL (03) 5462-4818
FAX (03) 5462-4876
E-mail info@sumibe.co.jp